

2021年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 キラリっ子ファミリーカフェ

代表者・役職名 氏名 代表 中村ひとみ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ライト・イット・アップ・ブルーin 立川～楽しいイベントで社会に伝えたい！多様な子どもたちの人権と幸せについて

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

発達障害児を育てる保護者同士で悩みを打ち明け、共感や情報交換を得られる場所の必要性を感じ、2017年に保護者同士で設立。2020年からは立川市と協働でピアサポート事業を実施、毎月のおしゃべり会や講座、啓発活動を行う。現在はグループLINE参加者78名、毎月のおしゃべり会には平均して10名程度が参加している。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

発達に不安がある子とその保護者から、周囲の無理解や偏見に傷つき孤立を繰り返すという苦しい声が沢山挙がっている。多様性を大切にという世界的なムーブメントはあるが実際には、発達障害に限らず、障害、貧困、不登校…様々な理由で子どもやその親が社会で苦しんでいる現状がある。

そこで、地域の人たちに発達障害や子どもの人権について知ってもらい、多様性を受け入れるきっかけを作りたいと、本プロジェクトを実施した。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

年2回、4/2「世界自閉症啓発デー」11/20「国連世界こどもの日」に、地元商店街や支援団体と連携して啓発イベントを実施。①発達障害や子どもの人権啓発のシンボルカラーである青のイルミネーションを、市の施設や商店街で行った。②地域の人たちに身近に考えてもらうための「でこぼこっ子も幸せに生きるまちづくりワークショップ」を開催した。(「体験スタンプラリー」「点灯式」はコロナ感染拡大のため中止)③市内の小・中学校や公共施設でリーフレット配布・ポスター掲示を行った。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- ・イルミネーション…商店街にてR3,11/20～R4,4/8、立川市子ども未来センターにてR4,3/30～4/8実施。
- ・「でこぼこっ子も幸せに生きるまちづくりワークショップ」…市議会議員、一般市民含め24名の参加。
- ・リーフレット配布…年2回、市内小中学校全生徒教職員、子育てひろば、児童館、幼保育園、学習館に17000部
- ・効果…ワークショップに参加した市民から依頼があり、代表が発達障害についての講座を実施。今後の啓発活動実施にあたり、市の子育て推進課、他の障害者団体や子育て支援団体と連携の話が進んでいる。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今後も啓発活動を継続していくにあたっては、行政や他団体と連携して活動の内容や規模を広げていくこと、企業協賛を得て安定した資金獲得の2点が必要と考えている。今後の展望としては、行政との協働事業に申請して助成金を得て3年ほど行い、その間に活動への信頼を得て、一緒に行う団体や協賛してくれる企業を獲得していく。最終的には、市のイベントとして実行委員会を立ち上げることを目指したい。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。

